

大学共同利用機関法人自然科学研究機構
教育研究評議会（第34回）議事要旨

1. 日 時 平成25年1月24日（木）10：45～13：30
2. 場 所 自然科学研究機構事務局会議室
3. 出席者 佐藤議長、井上評議員、金子（章）評議員、郷評議員、小間評議員、佐藤（哲）評議員、高畑評議員、廣田評議員、木下評議員、観山評議員、林評議員、小森評議員、岡田（清）評議員、岡田（泰）評議員、大峯評議員、渡部評議員、金子（修）評議員、山森評議員、小杉評議員
（陪席者）
武田監事、竹俣監事
（事務担当者）
増田事務局次長、亀原総務課長、新地企画連携課長、長谷川財務課長、国立天文台佐藤事務部長、核融合科学研究所川畑管理部長、岡崎統合事務センター穴沢事務センター長及び樋口財務部長 他
（研究成果発表者）
小久保 英一郎 教授（国立天文台）

4. 配付資料

- 1 教育研究評議会（第33回）議事要旨（案）
- 2-1 労働契約法改正のポイント
- 2-2 大学共同利用機関法人自然科学研究機構無期労働契約転換者の定年等に関する規程（案）
- 2-3 無期労働契約転換者の定年について
- 3 平成25年度自然科学研究機構予算編成方針（案）
- 4-1 平成24年度補正予算（第1号）の内示について
- 4-2 平成二十四年度補正予算及び平成二十五年度予算の編成方針等について
- 5 自然科学研究機構外部評価について
- 6 自然科学研究機構シンポジウム（第14回）について

5. 議事等

議事に先立ち、定足数並びに配付資料の確認があった。

- 1) 前回議事要旨（案）について
前回教育研究評議会（第33回）議事要旨（案）（資料1）が了承された。
- 2) 改正労働契約法の対応について
事務局から、資料2-1に基づき、労働契約法の改正について説明があり、続い

て資料2-2及び資料2-3に基づき、本機構の無期労働契約転換者の定年等に関する規程（案）について説明があり、審議の結果、案（資料2-2）のとおり了承された。

（主な意見等は以下のとおり）

- 無期労働契約に転換した者の人件費の財源予算はどのようなものか。
- 財源は運営費交付金や外部資金であるが、いわゆる人件費削減対象の雇用者ではない。ただし、運営費交付金が年々削減されてきており、雇用する際には留意する必要がある。
- 退職手当の支払いはあるのか。
- 退職手当の支払いは、雇用の形態によって異なっており、支給される者もいれば支給されない者もいる。

3) 平成25年度自然科学研究機構予算編成方針（案）について

事務局から、資料3に基づき、平成25年度自然科学研究機構予算編成方針（案）について説明があり、審議の結果、案のとおり了承された。

4) 平成24年度補正予算（第1号）について

事務局から、資料4-1及び資料4-2に基づき、本機構の平成24年度補正予算（第1号）の内示状況について報告があった。

5) 自然科学研究機構外部評価について

観山評議員から、資料5に基づき、機構が実施した自然科学研究機構外部評価について報告があった。

（主な意見等は以下のとおり）

- 外部評価委員からは、教育研究評議会などの会議は重要事項の審議のほか、議題を選び委員の自由討論の場を設けたほうがよいという意見もいただいた。
- 他大学の会議でも同様の取組を聞いたことがあり、その意見に賛成する。

6) 自然科学研究機構シンポジウム（第14回）について

大峯評議員から、資料6に基づき、自然科学研究機構シンポジウム（第14回）を平成25年3月20日（水：祝）に、学術総合センターにおいて開催する旨報告があった。

7) 機構の最近の研究成果について

本機構の最近の研究成果について、国立天文台の小久保 英一郎 教授から「地球を作る実験―星くずから惑星へ」と題して発表が行われ、質疑応答があった。

以上